



病と闘う子どもと家族のサポートハウス

パンダハウス

News Letter

VOL.19 2024年9月号
(年2回 3月、9月発行)

発行

認定特定非営利活動法人 パンダハウスを育てる会 事務局
TEL 024-548-3711
〒960-8157 福島県福島市蓬萊町八丁目15番地1

HP <https://pandahouse.org>
facebook <https://facebook.com/npo.panda.house>
E-mail office@pandahouse.org



家族と過ごすかけがえのない時間を提供するパンダハウス



公立大学法人
福島県立医科大学附属病院
副院長兼看護部長

二丹 玲子

パンダハウスがオープンしてから26年が過ぎようとしています。私は、オープン当時の1997年に小児病棟で勤務していました。その当時は、入院が長期になることも多く、母親または父親の付き添いを必要とし、残されたご兄弟は寂しい思いを抱え我慢を強いられていました。また入院中のお子さんは病棟の外に出られず、兄弟の面会はできない状況でした。

そのような中、当院で治療を受けている方とご家族が誰でも利用できるパンダハウスがオープンしました。利用したお子さんとご家族が笑顔で病院に帰ってくる姿は、今も忘れることができません。入院中会うことのできなかったご兄弟やご両親と家族水いらずで過ごす時間はかけがえのない時間であり、今後の治療への意欲を支え治療継続へ導いてくれる大事な時間だったのだと思います。

あれから20年が経過し、また小児病棟勤務となりました。今度は入院するお子さんが県内だけでなく、全国からそして海外からも治療のために当院へ入院しているお子様が増え、さらにパンダハウスを利用する機会は多くなってきました。また利用の仕方でも家族水いらずの時間を過ごすことはもちろん、付き添いをしてのご家族の日中の休息の時間としても利用されるようになってきました。

20年を経過してもパンダハウスは入院中のお子様はもちろん、その家族も支える大事な役割を果たしている施設であると思います。

パンダハウスの運営は多くの皆さまの寄付とボランティアの方々を支えられています。これからも、パンダハウスが多くのお子さん方やその家族のために心温まる空間となり、かけがえのない時間を過ごすことができる施設であり続けてほしいと思います。



パンダハウスでずっと皆を見守ってくれているパンダは、看護部長さんに健康診断をしていただきました。元気というお墨付きをもらったので、リフレッシュの旅に出る予定です。

「くまとなかまたち」絵本制作応援プロジェクト

～闘病する子どもたちの力に～

今年、秋の完成を目指して活動中!



当会では闘病する子どもたちの支援活動として、絵本制作応援プロジェクトを展開しています。

福島県立医科大学附属病院にて入院を経験した中高生4人が制作した『くまとなかまたち～さくらさけ～』という物語を絵本にして入院治療する子どもたちと家族に届けたいという作者たちの願いを応援するため絵本制作プロジェクトを立ち上げました。

くまと動物の仲間たちが入院生活の中で感じた不安や治療のつらさなどを、どのように仲間と乗り越えてきたのか等を柔らかいタッチの絵とやさしい文章でつづられています。作者の子どもたちとは何度も話し合いを重ね、誰に届けたいのか、どんな装丁にできるのか、広報の方法や作成費用など、いろいろなことを話し合い、試行錯誤しながら活動しています。

また、この取組みを多くの方に知っていただきたいの思いから、原画の展示会やチャリティバザーも開催しました。

今秋の完成を目指し活動していますので、これからも皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



▲東邦銀行本店1階ロビーでの展示会 (2024年6月11日～6月28日)



ふくしま木れびクリニックでのバザー・展示 (2024年8月10日～8月11日) ▲作者からのメッセージ動画を熱心に見てもらいました。



パンダハウスを育てる会と福島医大学生によるコラボ企画で ふくしまシティハーフマラソン参加者を応援しました!!



2024年5月19日(日)に「ふくしまシティハーフマラソン」において、パンダハウスの趣旨に賛同し、病気の子も達とご家族を支えたいと協力を申し出た医大生(広報サークルPR-Lab、赤十字奉仕団、ストリートダンスサークルZACC、看護学部)17名が参加しました。



◀暑い中、
熱い応援をしました!!

▼応援うちわを作成中!

事前に、パンダハウスのロゴやQRコードを印刷したうちわを学生さんが手作りし、当日はZACCの皆さんが主体となってダンスを披露したり、うちわを振って約4300人のランナーの皆さんに声援を送りました。学生さんの応援を受けて、歩いていたランナーさんが再び走り始めたり、手を振り返して「ありがとう」と言ってくれたり、ハイタッチをする場面も見られ、学生さんの熱い声援がランナーさんに届いたようです。



レモネードスタンドさんとの
コラボレーション!! パンダも
お手伝いしていただきました♥



最後に集合写真を撮りました

福島南高校2年生 情報会計科と国際文化科の生徒さん59名と ボランティア活動に関するワークショップを実施しました!



今回の取組みはパンダハウスでの学生ボランティアについて、ご相談をいただいたことからスタートしました。

「パンダハウスの活動について知ることによって病と闘う子どもやその家族について理解を深め、その中で自分たちにもできることを考え、継続的に行動していく」ことを目標に、まずは福島南高校へお伺いしてのワークショップ開催となりました。

当日は、森相談員より「パンダハウスの活動の紹介」、次に齋藤理事から「ボランティア活動の紹介」と「ボランティアにおける課題」などについてお話しをさせていただき、さらに生徒さんそれぞれのタブレットを活用し、オンラインでパンダハウス(バーチャル美術館)を見学し、ハ

ウスや活動への理解を深めていただきました。

その後のワークショップでは、「私たちにできることを考える」をメインテーマに、得意なことや好きなことを活かしたボランティア活動について、様々な意見やアイデアを出し合いました。

今後は、これらのアイデアを基に次回以降の活動を決めていくこととなっています。

初めての試みでしたが、今後の活動の糧となる貴重な時間となりました。

このような「ボランティアについて考えるワークショップ」の開催にご興味のある教育機関や団体の皆様、ぜひお気軽にパンダハウスへご連絡ください。



パンダハウスの活動紹介



グループに分かれてのワークショップ



「私たちにできること」を皆で考えます



模造紙を埋め尽くす
たくさんアイデア!!



利用者の感想



子供が急にPICU管理になってしまい、バタバタとパンダハウス利用となってハウスの方もとても親切に対応してくださって、すごく助かりました。

遠方から来ていたので、家族ものんびり生活ができていました。兄弟も泊まっていたのですが、とてもハウスを気に入っていて、楽しく過ごせました。

ハウスの雰囲気も良くて、気持ちが安らぎ、おちついて過ごせました。入院している子供が家に帰れるようになった時に、1日利用したいなと思っています。

本当にお世話になりました!!!

娘が手術をした当日、PICUに入ったため、利用させて頂きました。お部屋もきれいで、トイレやお風呂もきれいで、洗濯機なども利用可能となっていて、充実した施設だと感じます。また、医大からも近く、すぐに行ける距離のため、安心して過ごすことができました。手術が終わり、施設に来たのが夜になってしまいました。入り口はどこだ…と悩んだ部分はありましたが、中に入っすぐ、「フェイフェイはこちらです」の案内と「ゆっくり休んでください」のスタッフさんからのメモになんだか安心しました。お部屋にも案内書が置いてあり、細かく説明用紙も入っていてわかりやすかったです。数か月後また利用するかもしれません。もう一度利用したいと思えるところでした。ありがとうございました。お世話になりました。

PICUに入院したため付き添うことができず、今回6年ぶりに2回目の利用でした。子供の近くにいれる安心感もあり、一週間以上の連泊でしたので経済的にもとても有り難かったです。お湯を沸かししたり、レンジや冷蔵庫なども自由にに使わせていただき何不自由なく過ごせました。毎日清掃していただき清潔な環境とスタッフの方々の温かい対応や声掛けに心が和みました。ありがとうございました。

初めて利用させていただきました。病院からとても近く通いやすく施設内は様々なものが備わっており、過ごしやすかったです。自宅が遠方にあるため、また利用したいと思います。ありがとうございました。とても助かりました。



大人気のくじ!!
これ欲しいなあ~



ボランティアさんの紹介

江川 日菜子 さん

私は子どもの頃、医大に通院していた時にパンダハウスを知り、たくさんの方に支えてもらった経験から少しでも力になりたいと考えたことがボランティアに参加しようと思ったきっかけです。



参加するようになってはじめは緊張していましたが、スタッフの方やボランティアの方が明るく声をかけてくださり楽しみながら参加できるようになりました。スタッフの方とお話する中でいろいろな状況の利用者の方がいることを改めて知り、大変な中でも少しでもリラックスして笑顔で過ごせるような環境を整えるサポートをしたいと考えました。

まだボランティアをはじめて短いですが行事などにも参加して活動していきたいと思っています。



ガンバッテます!



活動報告 2024年2月～2024年8月

ハウス花壇の植え替えと外回りの清掃を実施しました

2024年5月25日(土) 国際ソロプチミスト福島
の皆さん並びにハウス清掃にお集まりいただき
ましたボランティアさんにハウス花壇を夏・秋の
花に植え替え作業とハウス周りの清掃を行って
いただきました。

ハウスを利用される方々やご近所の
皆様の心を癒してくれるでしょう。



ボランティアの
皆さん



国際ソロプチミスト福島の皆さん

パンダハウスの広報活動



2024年2月17日(土)全国PHP友の会福島県地区の皆様
にパンダハウスを育てる会の取組みについて講演させて
いただきました。

また、6月18日(火)桜の
聖母短期大学においても講
演をご依頼いただき誠にあ
りありがとうございます。これか
ら、当会の活動を広めてい
きたいと思います。



活動を説明する山本理事長

改築棟ほーるの利用



須賀川支援学校医大校の生徒
さんが調理実習をされました。



料理をしている丹治佑天
(タンジユウマ)さん(小6)



野菜いためつくって
食べたりしてとても
楽しかったです。

楽しかったので
また行きたい
です。

ボランティアさん募集中

パンダハウスの内外を清掃して下さる
ボランティアを募集しています。

活動時間: 10:00～12:00

- 利用者の居室、浴室、トイレ、リビングの清掃(毎日)
- 花壇の整備 花植え(6月・11月)、除草(4月～11月)
- 駐車場付近の草刈り(6月～10月)

パンダハウスは365日ご利用
いただける施設です。
活動日についてはご相談に応じます。



「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」

毎月11日の「イオン・デー」は、幸せの黄色いレシートの日。お買上レシート
金額合計の1%同額の物品が、応援したい団体へ寄贈されます。
☆「パンダハウス」ボックスへの投函、応援!! よろしく願いいたします。

賛助会員への加入とご寄附のお願い

賛助会員年会費

個人:(1口) 3,000円(1口以上)
団体:(1口)10,000円(1口以上)

年会費・寄附金 振込先

郵便為替口座
口座記号番号: 02200-9-110330
加入者名: 認定特定非営利活動法人
パンダハウスを育てる会

※他金融機関から、郵便振替の場合 店名: 二二九(二ニキュウ)店 当座預金 0110330